

事務事業名	はりきゅうマッサージ施術料助成事業				担当	健康福祉部 福祉課 高齢者福祉係			
政策名	C	思いやりと安心に満ちたみんな元気なまちづくり				電話番号	0285-83-8195		
施策名	5	高齢者の自立と社会参加の支援				<input type="checkbox"/> 実施計画上の主要事業			
基本事業名					事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ			
法令根拠	真岡市保険適用外はり・きゅう・マッサージ施術料助成要綱					<input type="checkbox"/> 単年度繰返（開始年度 平成3 年度～）			
予算科目	1. 一般会計	3. 民生費	1. 社会福祉費	3. 老人福祉費		<input type="checkbox"/> 期間限定複数年度（ 年度～ 年度）			
事業概要	<div>・市内に住所を有する70歳以上の高齢者、1・2級の身体障害手帳所有者で65歳以上の方及び6か月以上ねたきり状態の65歳以上の方が、保険適用外のはり・きゅう・マッサージの施術を受ける際に、その料金の一部を助成することにより、健康の保持と福祉の増進に寄与する。 ・一人当たり年6枚(2か月に1枚)を限度に助成券を交付する。 ・助成額は、助成券1枚につき1,000円である。</div>								

1. 現状把握の部 (1) 事務事業の目的と指標

<div>①手段（主な活動） 23年度実績 ・手続（申請受付 内容審査 助成券交付 利用 施術師から請求 支払い） ・社会福祉基金を財源として、実施している。  24年度計画 平成23年度と同じ</div>				<div>⑤活動指標（事務事業の活動量を表す指標）の推移</div> <table><tr><th>名称</th><th>単位</th><th>20 年度(実績)</th><th>21 年度(実績)</th><th>22 年度(実績)</th><th>23 年度(実績)</th><th>24 年度(見込)</th></tr><tr><td>ア 申請者数</td><td>人</td><td>210</td><td>306</td><td>422</td><td>386</td><td>400</td></tr><tr><td>イ 交付枚数</td><td>枚</td><td>1,183</td><td>1,648</td><td>2,166</td><td>2111</td><td>2200</td></tr><tr><td>ウ</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>エ</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>オ</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr></table>							名称	単位	20 年度(実績)	21 年度(実績)	22 年度(実績)	23 年度(実績)	24 年度(見込)	ア 申請者数	人	210	306	422	386	400	イ 交付枚数	枚	1,183	1,648	2,166	2111	2200	ウ							エ							オ						
名称	単位	20 年度(実績)	21 年度(実績)	22 年度(実績)	23 年度(実績)	24 年度(見込)																																														
ア 申請者数	人	210	306	422	386	400																																														
イ 交付枚数	枚	1,183	1,648	2,166	2111	2200																																														
ウ																																																				
エ																																																				
オ																																																				
<div>②対象（誰、何を対象にしているのか）＊人や自然資源等 ・70歳以上の高齢者 ・1・2級の身体障害手帳所有者で65歳以上の方 ・6か月以上ねたきり状態の65歳以上の方</div>				<div>⑥対象指標（対象の大きさを表す指標）の推移</div> <table><tr><th>名称</th><th>単位</th><th>20 年度(実績)</th><th>21 年度(実績)</th><th>22 年度(実績)</th><th>23 年度(実績)</th><th>24 年度(見込)</th></tr><tr><td>ア 対象者数</td><td>人</td><td>9,134</td><td>13,200</td><td>13,490</td><td>11895</td><td>12000</td></tr><tr><td>イ</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>ウ</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>エ</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>オ</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr></table>							名称	単位	20 年度(実績)	21 年度(実績)	22 年度(実績)	23 年度(実績)	24 年度(見込)	ア 対象者数	人	9,134	13,200	13,490	11895	12000	イ							ウ							エ							オ						
名称	単位	20 年度(実績)	21 年度(実績)	22 年度(実績)	23 年度(実績)	24 年度(見込)																																														
ア 対象者数	人	9,134	13,200	13,490	11895	12000																																														
イ																																																				
ウ																																																				
エ																																																				
オ																																																				
<div>③意図（この事業によって、対象をどう変えるのか） 保険適用外のはり・きゅう・マッサージの施術を受けてもらう。</div>				<div>⑦成果指標（対象における意図された対象の程度）の推移</div> <table><tr><th>名称</th><th>単位</th><th>20 年度(実績)</th><th>21 年度(実績)</th><th>22 年度(実績)</th><th>23 年度(実績)</th><th>24 年度(見込)</th></tr><tr><td>ア 利用枚数</td><td>枚</td><td>727</td><td>1,026</td><td>1,114</td><td>1165</td><td>1200</td></tr><tr><td>イ</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>ウ</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>エ</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>オ</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr></table>							名称	単位	20 年度(実績)	21 年度(実績)	22 年度(実績)	23 年度(実績)	24 年度(見込)	ア 利用枚数	枚	727	1,026	1,114	1165	1200	イ							ウ							エ							オ						
名称	単位	20 年度(実績)	21 年度(実績)	22 年度(実績)	23 年度(実績)	24 年度(見込)																																														
ア 利用枚数	枚	727	1,026	1,114	1165	1200																																														
イ																																																				
ウ																																																				
エ																																																				
オ																																																				
<div>④結果（どんな結果(上位施策)に結びつけるのか） 高齢者の健康の保持と福祉の増進に寄与する。</div>				<div>⑧上位成果指標（結果の達成度を表す指標）の推移</div> <table><tr><th>名称</th><th>単位</th><th>20 年度(実績)</th><th>21 年度(実績)</th><th>22 年度(実績)</th><th>23 年度(実績)</th><th>24 年度(見込)</th></tr><tr><td>ア 利用枚数 / 交付枚数</td><td>%</td><td>61.5</td><td>62.3</td><td>51.4</td><td>55.2</td><td>54.5</td></tr><tr><td>イ</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>ウ</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>エ</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>オ</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr></table>							名称	単位	20 年度(実績)	21 年度(実績)	22 年度(実績)	23 年度(実績)	24 年度(見込)	ア 利用枚数 / 交付枚数	%	61.5	62.3	51.4	55.2	54.5	イ							ウ							エ							オ						
名称	単位	20 年度(実績)	21 年度(実績)	22 年度(実績)	23 年度(実績)	24 年度(見込)																																														
ア 利用枚数 / 交付枚数	%	61.5	62.3	51.4	55.2	54.5																																														
イ																																																				
ウ																																																				
エ																																																				
オ																																																				
(2) 総事業費の推移		単位	20 年度(実績)	21 年度(実績)	22 年度(実績)	23 年度(実績)	24 年度(見込)																																													
投入量	事業費	財源内訳	国庫支出金	千円	0	0	0	0																																												
		県支出金	千円	0	0	0	0																																													
		地方債	千円	0	0	0	0																																													
		その他	千円	4	1,026	1,114	1,165																																													
		一般財源	千円	723	0	0	0																																													
		事業費計（A）	千円	727	1,026	1,114	1,165																																													
	人件費	正規職員従事人数	人	1	1	1	1																																													
		延べ業務時間	時間	119	120	120	120																																													
		人件費計（B）	千円	497	487	512	509																																													
		トータルコスト(A)+(B)	千円	1,224	1,513	1,626	1,674																																													

③この事務事業を開始したきっかけは何か？  
いつごろどんな経緯で開始されたのか？

平成3年度に、高齢者の健康の保持と福祉の増進に寄与するため開始された。

②事務事業を取り巻く状況（対象者や根拠法令等）はどう変化しているか、開始時期あるいは 5 年前と比べてどう変わったのか？

③この事務事業に対して関係者（住民、議会、事業対象者、利害関係者等）からどんな意見や要望が寄せられているか？

2. 1 次評価の部      ＊原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

目的妥当性評価	①政策体系との整合性 ・この事務事業の目的は、市の政策体系に結びつくか？ ・意図することが結果（上位施策）に結びついているか？	<input type="checkbox"/> 結びついている <input type="checkbox"/> 見直し余地がある 高齢者の健康の保持と福祉の増進のため、高齢者の自立に結びつく。
	②公共関与の妥当性 ・なぜこの事務事業を市が行わなければならないのか？ ・税金を投入して達成する目的か？	<input type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直し余地がある 高齢者に健康で自立した生活を送ってもらうことは、市の責務である。
	③対象と意図の妥当性 ・対象を限定・追加すべきか？ ・意図を限定・拡充すべきか？	<input type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 対象を見直す必要がある <input type="checkbox"/> 意図を見直す必要がある 要件を満たす全員を対象としているため、適切である。
有効性評価	④成果の向上余地 ・成果を向上させる余地はあるか？ ・成果の現状水準とあるべき水準の差異はないか？ ・何が原因で成果向上が期待できないのか？	<input type="checkbox"/> 向上余地はない <input type="checkbox"/> 向上余地がある 申請者全員に助成しているため、向上余地はない。
	⑤廃止・休止の成果への影響 ・事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？	<input type="checkbox"/> 影響がある <input type="checkbox"/> 影響がない 高齢者等の健康の保持と福祉の増進に支障がでるため、廃止・休止は難しい。
	⑥類似事業との統合や連携の可能性 ・他に、類似の形態の事務事業はないか？	<input type="checkbox"/> 類似事業がある（類似の事務事業名を記載） <input type="checkbox"/> 類似事業はない
	・類似事業がある場合、その事業と統合したり連携を図ることができるか？	<input type="checkbox"/> 他の事業と統合・連携ができる <input type="checkbox"/> 他の事業と統合・連携できない
効率性評価	⑦事業費の削減余地 ・成果を下げずに事業費を削減できないか？ （仕様や工法の適正化、住民の協力など）	<input type="checkbox"/> 削減余地がない <input type="checkbox"/> 削減余地がある 必要最小限の事業費であり、削減余地はない。
	⑧人件費（延べ業務時間）の削減余地 ・やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？ ・成果を下げずにより正社員以外の職員や委託でできないか（アウトソーシングなど）	<input type="checkbox"/> 削減余地がない <input type="checkbox"/> 削減余地がある 必要最小限の人件費で事務処理をしているため、削減余地はない。
公平性評価	⑨受益機会・費用負担の適正化余地 ・事業の内容が一部の受益者に偏って不公平ではないか？ ・受益者負担が公正・公平になっているか？	<input type="checkbox"/> 公正・公平である <input type="checkbox"/> 見直し余地がある 要件を満たす全員を対象としているため、公平、公正である。

3. 改革・改善方向の部

(1) 改革の方向性（改革案・実行計画）  <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 見直し（ <input type="checkbox"/> ：目的妥当性 <input type="checkbox"/> ：有効性 <input type="checkbox"/> ：効率性 <input type="checkbox"/> ：公平性） <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 継続	(3) 改革・改善による期待成果 <table><tr><td></td><td></td><th colspan="3">コスト</th></tr><tr><td></td><td></td><th>削減</th><th>維持</th><th>増加</th></tr><tr><th rowspan="3">成果</th><th>向上</th><td></td><td></td><td></td></tr><tr><th>維持</th><td></td><td></td><td></td></tr><tr><th>低下</th><td></td><td></td><td></td></tr></table>			コスト					削減	維持	増加	成果	向上				維持				低下			
			コスト																					
		削減	維持	増加																				
成果	向上																							
	維持																							
	低下																							
(2) 改革、改善を実現する上で克服すべき課題は何か？それをどう克服していくか？																								

4. 事務事業の 2 次評価結果（事業の総括と事業の方向性）

(1) 1 次評価結果の客観性と出来具合 <input type="checkbox"/> 記述説明不足（説明責任不充分） <input type="checkbox"/> 評価内容が客観性を欠く <input type="checkbox"/> 評価内容は客観的と言える		(5) 改革・改善による期待成果 <table><tr><td></td><td></td><th colspan="3">コスト</th></tr><tr><td></td><td></td><th>削減</th><th>維持</th><th>増加</th></tr><tr><th rowspan="3">成果</th><th>向上</th><td></td><td></td><td></td></tr><tr><th>維持</th><td></td><td></td><td></td></tr><tr><th>低下</th><td></td><td></td><td></td></tr></table>			コスト					削減	維持	増加	成果	向上				維持				低下			
			コスト																						
			削減	維持	増加																				
成果	向上																								
	維持																								
	低下																								
(2) 2 次評価者としての評価結果  ①目的妥当性 <input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり    ②有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ③効率性 <input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり    ④公平性 <input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり																									
(3) 2 次評価者として判断した今後の事業の方向性  <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的絞込み <input type="checkbox"/> 目的拡充 <input type="checkbox"/> 事業統廃合 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善 <input type="checkbox"/> 予算削減 <input type="checkbox"/> 予算増大 <input type="checkbox"/> 現状維持（従来通りで特に改革改善をしない）	(4) その他 2 次評価会議で指摘された事項																								